

平成30年度

まちづくり研修会

『訪れたくなるまちづくり』

平成30年 8月 28日 (火)

13:00～17:00 (受付 12:30～)

場 所：金沢学生のまち市民交流館

参加費
無料

定員
40名

ープログラムー

■12:30 開場

■13:00 開会

■13:05-13:45 講演：「位置情報ビッグデータからわかる旅行行動の特徴と新幹線開業の影響」

新幹線開業効果をどのように継続し、敦賀延伸に向けて各地がどのように課題に対応すべきかを学ぶ

講師／金沢大学 自然科学研究科 都市・河川防災講座 特任助教 山口 裕通氏

大阪府生まれ。博士（工学）。東北大学修了後、スイス連邦工科大学チューリヒ校での客員研究員などをへて平成29年4月より現職。専門は移動行動のデータ解析・交通需要予測。現在は、災害時の移動行動データの解析や新幹線など長距離交通サービスによる旅行パターンへの効果の分析に取り組む。

■13:45-16:55 まちあるきワークショップ：「新たな空間利活用の試み～訪れたいまちに～」

会場周辺の低未利用地の活用をモデルに、様々な視点からその活かし方を学ぶ

コーディネーター／石川地域づくりコーディネーター 埴 正浩氏

石川県生まれ。博士（工学）、技術士。株式会社日本海コンサルタント専務取締役。主な社会的活動として都市環境デザイン会議理事、石川地域づくりコーディネーター、富山市まちづくりアドバイザー、上越市まちづくりアドバイザー、K.C.A.T（金沢の都市と交通を考える会）事務局長、西村幸夫町並み塾事務局長などを務める。著書に「日本の都市環境デザイン2」（共著）建築資料研究社、「証言・町並み保全」、「証言・まちづくり」（共編）学芸出版社、「地方都市の再生戦略」（共著）学芸出版社などがある。

■17:00 閉会

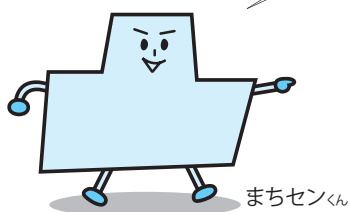
本県では、2015年の北陸新幹線金沢開業効果が現在も衰えておらず、この要因のひとつとして、開業を契機に地域本来の魅力に付加価値を与え、地域イメージを向上させたことがあげられます。一方で、空き地等の低未利用地の増加に伴う都市のスポンジ化が進む中、地域の課題を把握し、低未利用地の適切な利活用により地域の価値を高め、現在の開業効果を維持・発展させ、敦賀延伸時の開業効果に繋げることが求められます。

まちづくり研修会では、参加者が今後のまちづくりに必要な視点や考え方を共有し、お互いに学び合う場をつくります。

自治体職員、まちづくりに取り組む団体、まちづくりを学ぶ学生の皆様など、まちづくりに関心がある方はどなたでも参加できます。

申込みは裏面の申込用紙またはEメールにて
8月20日（月）までにお申し込み下さい

共 催：（公財）いしかわまちづくり技術センター・石川県都市計画協会
事務局：（公財）いしかわまちづくり技術センター



まちセンくん

